

麻疹及び風疹予防接種（又は 風疹予防接種）についてのご案内

本予防接種は任意予防接種であり、法律上の接種の努力義務はありません。



【注意事項】

- 抗体検査から受けるかたは、「風疹に対する免疫が十分でないと判断する抗体価」のかたのみ予防接種が受けられます。
- 予防接種について正しく理解していただくため、このご案内をよく読んで予防接種を受けるかどうか判断してください。
- 予防接種予診票兼補助券がないと、町の補助額が適応された金額で受けられません。

麻疹・風疹とは

麻疹は、「はしか」とも呼ばれ、麻疹に感染した人のせきやくしゃみ、会話などで飛び散るしぶき（飛沫）を吸い込んだり、空気を介して人から人へうつるため、手洗いやマスクだけでは予防できません。症状は感染してから10日ほどで発熱や咳・鼻水といった風邪のような症状が2日から3日続いた後で、高熱と発疹が出現します。また、免疫機能が低下するため、肺炎や脳炎になって命に関わる場合があります。

風疹は、「三日はしか」とも呼ばれ、風疹に感染した人のせきやくしゃみ、会話などで飛び散るしぶきを吸い込むことでおこります。特に成人で発症した場合の症状は、高熱や発疹が長く続いたり、関節痛を認めるなど、小児より重症化することがあります。また、脳炎や血小板減少性紫斑病（かさぶたを作る働きの血小板の数が少なくなり、出血しやすくなります。また出血が止まりにくくなり、様々な出血症状がみられます。）を合併するなど、入院が必要になることもあるため、決して軽視はできない疾患です。

また、風疹に対する免疫が不十分な妊娠20週頃までの女性が風疹ウイルスに感染すると、眼や心臓、耳等に障害をもつ（先天性風疹症候群）子どもが出生することがあります。（妊娠1か月でかかった場合50%以上、妊娠2か月の場合は35%などとされています）。

麻疹や風疹は免疫がなければ誰もがかかります。予防できる唯一の方法は、予防接種を受けることです。MRワクチンを接種することによって、95%程度の人が麻疹ウイルスと風疹ウイルスに対する免疫を獲得することができますと言われています。

異なるワクチンを接種する際の接種間隔等

注射生ワクチンと本ワクチンの間隔は27日以上あけて接種してください。

その他のワクチンについては、本ワクチンとの接種間隔に規定はありません。

接種にあたっての注意

【次のかたは予防接種を受けることはできません】

- (1) 明らかに発熱しているかた（通常は37.5℃を超える場合）
- (2) ワクチンの成分によってアナフィラキシー（通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性じんましんなどを伴う重いアレルギー反応のこと）を起こしたことがあるかた
- (3) 重い急性疾患にかかっているかた
- (4) 明らかに免疫機能に異常のある疾患があるかた及び免疫抑制をきたす治療を受けているかた
- (5) 妊娠していることが明らかなかた

妊娠希望の女性は、接種前にあらかじめ約1か月間避妊したのち、妊娠していないことを確認後接種をしてください。**また、接種後2か月間は避妊してください。**

- (6) 上記に掲げるかたのほか、予防接種を行うことが不適当な状態であると医師に判断されたかた

【次のかたは接種前に医師にご相談ください】

- (1) 麻しん又は風しんにかかったことがあるかた
- (2) 心臓血管疾患、腎臓・肝臓疾患、血液疾患、発育障がいなど基礎疾患があるかた
- (3) 予防接種で接種後2日以内に発熱、全身性発しんなどのアレルギーを疑う症状がみられたかた
- (4) 過去にけいれん（ひきつけ）をおこしたことがあるかた
- (5) 過去に免疫状態の異常を指摘されたことがあるかた、または近親者に先天性免疫不全症の者がいるかた
- (6) このワクチンの成分に対してアレルギーを起こすおそれがあるかた

【接種後の副反応】

発熱、発しんなどで、接種後5～12日に多くみられます。接種後から数日中に過敏症状として考えられる発熱、発しん、かゆみなどがみられることがあり、これらの症状は1～3日で治ります。また、重い副反応として非常にまれですが、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、脳炎、けいれんなどが報告されています。このような症状が認められたり、疑われた場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

【接種後の注意点】

- (1) 接種後30分間は、アナフィラキシーなどの副反応が起こることがありますので、医師とすぐ連絡がとれるようにしておきましょう。
- (2) 高熱、けいれんなどの異常を感じた場合、すぐに医師の診察を受けてください。
- (3) この予防接種を受けると、発熱、発しん、注射部位に発赤がみられます。症状が重い場合は、医師の診察を受けてください。（ただし、この場合、健康保険を適用します。）
- (4) 接種当日は、激しい運動をさけてください。
- (5) 接種部位は、清潔にしてください。入浴は、差し支えありません。
- (6) 接種後約2か月間は避妊をしてください。
- (7) このワクチン接種後、他の注射生ワクチンを接種する場合には、27日間以上の間隔をあける必要があります。

健康被害救済制度について

本予防接種は、任意の予防接種のため、万が一健康被害が発生した場合は、予防接種法に基づく救済を受けることはできません。本予防接種を受け、重篤な副反応が発生した場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構による「医薬品副作用被害救済制度」により、救済される可能性があります。ご不明な点は、下記までお問い合わせください。